

くらべてよもう じどう車くらべ

日時：10月18日（金）第5校時
 学年：第1学年 22名
 指導者：神垣 歩美

糸崎小学校で育てようとする資質や能力及び

* は今年度の重点項目

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| ①課題発見・解決能力 | ②思考力・判断力・表現力 | ③コミュニケーション能力 |
| ④主体性・積極性 | ⑤回復力 | ⑥協調性・柔軟性 |
| | | ⑦自らへの自信 |

1. 単元について

単元観

本単元は、新学習指導要領の第1学年・思考力、判断力、表現力等のC読むことA「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」及びウ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を受け、児童が説明の順序に着目しながら読み、その良さに気付いたり、比べたりしながら構成を読み取ることができる単元として設定した。

また、学習した文型や構成を使って実際に書くことを関連させて指導していくことが効果的な単元である。

児童観

本学級の児童は、これまでに問いと答えを対応させて読むことや、順序に着目して読む学習をしている。「うみのかくれんぼ」では、学習したことを使ってクイズを作る活動も行った。児童は、目的を持って書かれている順序に気を付けながら読むことができた。しかし、ひらがなの習得に課題のある児童もおり、どこに何が書かれているのかを正確に読み取ることができにくく、順序に着目することにも課題があった。また、自分の考えを持つことが難しい児童や自信を持って発表することができにくい児童がいる。そのため、ペアで交流するなど関わり合う時間を設定し、安心して学習できるようにする必要がある。

指導の手立て

本単元の指導に当たっては、構成を捉え、実際に活用することができるように次の三点の工夫を取り入れて学習活動を行う。

① 読み取ったことを活用する単元構成の工夫

説明の順序や構成に着目して読むために、読み取ったことを使って「じどう車ずかん」を作ることを単元のゴールとして設定する。

② ステップチャートの活用

それぞれの自動車「しごと」「つくり①」「つくり②」の順に書かれていることに気付かせるため、ステップチャートに書かれていることを整理し、比べるようにする。

③ ペア学習の設定

自分の考えを持ち、発表できるようにするために、ペアで交流する時間を設定する。また、一人ではできないことや自信のないこともペアで話すことによって解決できるようにする。

2. 単元目標と評価規準

観点	目標 (○内は育成を目指す資質能力の番号)	評価規準
知識 技能	事柄の順序など情報と情報の関係について理解することができる。	事柄の順序に気を付けて「しごと」と「つくり」の関係を理解している。
思考力 判断力 表現力等	文章の中の重要な語や文を考えて、選び出すことができる。⑤	「しごと」と「つくり」を整理するために必要な語や文を選び出している。
学びに 向かう力 人間性等	乗り物の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、進んで比べたり他の読み物を読んだりしている。①	進んで情報を整理したり、他の乗り物について調べたりしようとしている。

3. 指導計画とルーブリック (本時5/10)

時	学習活動	ルーブリック		資質	思考スキル (思考ツール)
		S	A		
1	題名や挿絵などから自動車にはさまざまな種類があることに気付き、「じどう車ずかん」を作るという学習の見通しを持つ。◎	A + 自分の経験と関係付けて知っている自動車について話すことができる。	自動車にはさまざまな種類があることに気付き、学習の見通しを持つことができる。	①	
2	本文を読み、3種類の乗り物や「しごと」と「つくり」について説明してあることを大まかにとらえる。	A + 読み取ったことを説明できる。	書かれている事柄を大まかに読み取ることができる。	①	
3	「バスやじょうよう車」の「しごと」と「つくり」について読み取ってまとめる。	A + 「しごと」と「つくり」の関係について説明できる。	「バスやじょうよう車」の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。	⑤ ①	順序立てる (ステップチャート)
4	「トラック」の「しごと」と「つくり」について読み取ってまとめる。	A + 「バスやじょうよう車」と比べることができる。	「トラック」の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。	⑤ ①	順序立てる (ステップチャート)
5 本時	「クレーン車」の「しごと」と「つくり」について読み取ってまとめる。◎	A + バスやじょうよう車、トラックの「しごと」と「つくり」と比べることができる。	「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。	⑤ ①	順序立てる (ステップチャート)
6	「はしご車」の「しごと」と「つくり」について挿絵から考え、文にまとめる。	A + 「しごと」と「つくり」の関係について説明できる。	「はしご車」の「しごと」と「つくり」を考え、文にまとめることができる。	①	順序立てる (ステップチャート)
7 8	乗り物の本や図鑑を読み、「しごと」と「つくり」を見つける。	A + 「しごと」と「つくり」を整理しながら読むことができる。	進んで他の読み物を読み、情報を見つけることができる。	①	
9 10	自分が選んだ乗り物について「しごと」と「つくり」をカードにまとめる。◎	A + 2つ以上の説明文を書くことができる。	自分が選んだ乗り物の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。	① ⑤	順序立てる (ステップチャート)

十月十八日(金) 五校時

指導者 神垣 歩美

三原市立系崎小学校 一年 一組
算数科 「じどう車くらべ」
第五時

授業構成図

本時のねらい

「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。
(事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。◎)

(課題対応能力★)

目指す子どもの姿

S A+バスやじようよう車、トラックの「しごと」と「つくり」と比べることができる。
A 「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。

引き出したい具体的な表現

S 「しごと」に合った「つくり」になっているから「しごと」「つくり」の順番に書いてあって、全部同じ書き方だと分かりやすい。
A クレーン車の仕事は、重いものをつりあげること、そのためにじょうぶなうでやあしがついている。

深い学びの視点

- ① 既有知識を関連付けて考え、一階層上の知識を得る。
- ② 獲得した知識を汎用的に活用する。
- ③ 学習の目的を、より高い目的に価値づける。

見通しや実行方法を発想する場面

⑤自力解決をする。
Tクレーン車について「しごと」と「つくり」をまとめましょう。まずは、「しごと」と「つくり」を見つけて教科書に線を引いてみましょう。
留解決の手助けとなるよう、教科書にサイドラインを引かせた後、まとめさせるようにする。

⑥ペアで解決をする。◎
T自分で考えたことをペアの人と話しましょう。
Cクレーン車の仕事は、重いものをつり上げること

Cつくりは、じようぶなうでがのびたりうごいたりすること。
Cつくりはしっかりしたあしがついていること。

⑦全体で交流する。★
T考えたことをみんなで交流しましょう。「しごと」から考えましょう。
C仕事は、重いものをつり上げることです。
T「つくり」はどうですか。

Cつくりは、じようぶなうでがのびたり動いたりすることです。
Cもう一つあって、しっかりした足がついていることです。
Tどうしてそういうつくりになっているのですか。
C重いものを高いところにつり上げるために長いうでがついていると思います。

Cうでが長いのに丈夫な足がなかったらぐらぐらするからついていると思います。
T三つのステップチャートを比べて同じところ、違うところを見つけましょう。

Cバス、乗用車、トラックは運ぶ仕事をしていただけ、クレーン車は運ぶ仕事はしていません。
C仕事のところで仕事をしているから今までの乗り物と違うと思います。

C三つとも「しごと」と「つくり」を順番に書いてあるところが同じです。
C「しごと」に合った「つくり」のことが書いてあることが同じです。
⑧本時のまとめをする。

T三つの乗り物を比べて分かったことはどんなことですか。
C仕事とつくりの自身は違うけど、どの乗り物も「しごと」と「つくり」の順番に書いてあることが同じになっています。
⑨学習の振り返りをする。
C順番に説明すると分かりやすいことが分かりました。じどう車ずかんを作るときに真似したいです。

対象と既存の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

①本時の課題を確認する。
T今日は、何の乗り物について学習しますか。
Cクレーン車
Tクレーン車の何を見つけていきますか。
C「しごと」と「つくり」

②学習課題を立てる。
T今日の課題はどうしますか。
Cクレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。
Tじゃあ、それを今日の課題にしましょう。

学習課題
クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。

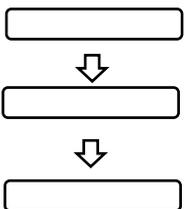
③解決方法の見通しをもつ。
Tどうやったらできそうですか。
C昨日までと同じようにステップチャートにしたらいい。
Cステップチャートにしたなら、順番にまとめられる。

④ルーブリックを設定する。
T今日は何ができたらいですか。
C「しごと」と「つくり」をまとめること。

Tじゃあ、「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をまとめることができるからA、「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をバスやじようよう車、トラックと比べることができたらSにしましょう。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識

思考スキル
「順序」「関係」
「整理する」
↓
思考ツール
「ステップチャート」



5. 思考ツール

